

2024年度 事業報告書

2025年3月31日

公益財団法人静岡県西部しんきん地域振興財団

本年度は設立24年目を迎えました。実施した事業は、定款第4条に基づく「地域社会を活性化する活動の支援事業」では、自主事業を実施、「地域産業の振興活動等各種助成事業」についても順調に事業を実施しました。特に助成交付事業は、100事業に総額11,000千円の交付を承認し、取下げ1件、実施延期3件により97事業10,720千円（2023年度承認先のうち実施が2024年度にずれ込んだ先1事業・70千円含む）の助成金交付を実施しました。これらの支援事業ならびに助成交付事業により地域の発展に貢献いたしました。

1. 地域社会を活性化する活動の支援事業

(1) 体験活動開催事業

2024年8月1日（木）に、公募による小学生親子35組70人が参加し「お金の教室と工場見学」をテーマとして実施しました。午前中は浜松いわた信用金庫本部を訪問し、お金の教室を受講しました。2024年7月に発行された新紙幣を題材としたお金の話ほか小遣い帖の書き方などを学びました。午後は袋井市の「ハウス食品静岡工場」を訪問しました。マスクとヘアキャップを付け工場敷地内のレトルトカレー工場を見学し、担当者との質疑応答の時間を設け子供たちからの多くの質問に答えさせていただきました。この活動を通して、お金の大事さや地域の産業を学び、児童の健全な育成と親子のふれあいを図ることができました。

(2) 講演会開催事業

2024年9月8日（日）に石原良純氏を講師に招き「石原良純、大いに語る～日本の気象・環境問題から家族の絆まで～」を演題にアクトシティ浜松中ホールにて講演会を実施しました。公募による来場者約900名の聴衆を前に異常気象や環境問題の話から石原慎太郎・石原裕次郎氏のエピソードを交えて講演いただきました。来場者の満足度も高く地域社会の活性化に寄与するという目的は達成したものと考えます。

(3) 天浜線人と時代をつなぐ花のリレープロジェクト事業

本年度もアダプト団体（参加団体）による除草・清掃等維持活動は活発に行われました。担当する植栽地毎に各団体は各々計画を立て、基本的に年度二回以上の活動を実践しております。本年度参加者数は、延べ304団体、2,588名が参加しております（2018年度からの通算では延べ1,425団体、13,860名）。3月にはアダプト団体代表者が一堂に会した「アダプト団体交流会」を開催し相互の情報交換やプロジェクトに向かう一体感を高めました。今後も約130以上のアダプト団体や地域との連携を図りながら持続的な活動を進めてまいります。

財団は事務局として各団体との日程調整など側面支援や補植用植物苗等の購入、HPの

維持管理等を担当しています。

2. 地域産業の振興活動への助成

「遠州はまきた飛竜まつり実行委員会」が申請した「遠州はまきたのシンボル「飛竜」PR事業」等、10団体12事業に1,210千円の助成を行いました。

3. 地域の文化芸術・スポーツの振興活動への助成

「第8回浜松市民オペラ実行委員会」が申請した「第8回浜松市民オペラ「音詩劇かぐや」開催事業」等、53団体53事業に5,740千円の助成を行いました。

4. 地域の国際交流活動への助成

「日本×バリ協働文化交流プロジェクト委員会」が申請した「日本×バリ協働文化交流プロジェクト」等、13団体13事業に1,750千円の助成を行いました。

5. 地域の健康福祉や快適環境増進活動への助成

「ガールスカウト浜松市協議会」が申請した「ガールスカウト里山活動」等、19団体19事業に2,020千円の助成を行いました。

6. 青少年の人間形成に寄与する事業

浜松市立城北図書館ならびに浜松市立都田図書館に設立した「はましん文庫」に青少年の健全育成のための書籍を城北図書館に35冊（99,060円相当）、都田図書館に32冊（98,464円相当）合計67冊（197,524円相当）を寄贈しました。

以上